

令和5年度行政事業レビューシート (内閣府)							
事業名	DX地域活性化推進事業			担当部局庁	政策統括官(経済財政分析担当)	作成責任者	
事業開始年度	令和4年度	事業終了(予定)年度	令和5年度	担当課室	地方創生推進室	参事官 景山 忠史	
会計区分	一般会計						
根拠法令(具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	デジタル田園都市国家構想総合戦略		
政策	5. 地方創生			主要経費	その他の事項経費		
施策	5. 地方創生に関する施策の推進						
政策体系・評価書URL	-						
事業の目的(5行程度以内)	異なるスキル・経験・属性の掛け合わせによるDXチームの活用により、デジタルの力を使った地域課題解決を加速し、地域のDX人材育成にも寄与していく。						
現状・課題(5行程度以内)	地域DXは解決すべき課題が多分野にわたり、かつ調整すべき地域のステークホルダーも多数存在し、デジタルの地域への実装にあたっては広い知見と、深い専門知識はもちろんのこと、課題の洗い出しやプロジェクトマネジメントスキルなど幅広い能力が求められる。地域、特に自治体内におけるDX人材の慢性的な不足は大きな課題であり、外部専門人材の活用が求められるが、原課による単体サービス実装の範囲を超え、庁内全体を巻き込んだDX推進・意識改革や、データ連携基盤を活用した複数サービスの実装等の大規模な事業推進のケースでは、外部専門人材単体での支援となるとケイパビリティ・リソース共に限界がある。						
事業概要(5行程度以内)	自治体が主導する地域のDX事業に対し、異なるスキル・経験・属性を持つDX人材複数名によるチームを組成し、派遣及び支援を行う。本実証を通じて、派遣先でのチームによる事業やステークホルダーへの関与・支援の在り方やマネジメント方法、チーム派遣における人材要件定義の適切性などに関する調査を行うとともに、これらの活動を通じて、地域へのDX人材チーム派遣モデルの確立を目指す。						
事業概要URL	-						
実施方法	委託・請負						
補助率等	-						
予算額・執行額(単位:百万円)(インプット)	予算の状況	当初予算(A)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
		補正予算(B)	-	-	95	85	-
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	-
		予備費等(E)	-	-	▲ 9	-	-
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	-	-	86	85	-
		執行額(G)	-	-	82	-	-
		執行率(%) =(G)/(F)	-	-	95%	-	-
		当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	-	-	86%	-	-
		歳出予算項・目	令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
(項)	地方創生支援費	-					
(目)	地方創生支援委託費	85					
	その他	-					
計(A)	85	-					

活動内容① (アクティビティ)	地域外の民間事業者等からなるDXチームが地域のDX事業に参画し、活躍する仕組みの実現								
↓									
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
	DXチームによる地域DX事業の推進	DXチーム・人材の地域への派遣数(受入数)	活動実績	団体	-	-	5	-	-
当初見込み			団体	-	-	4	4	-	
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	DXチーム・人材の地域への派遣により地方公共団体におけるデジタル人材の活用を推進するため、デジタル田園都市国家構想総合戦略において主要なKPIとして設定された、外部デジタル人材を任用している地方公共団体数を短期アウトカムとして設定。							
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 9年度	
	外部デジタル人材を任用している地方公共団体数の増加	外部デジタル人材を任用している地方公共団体数	成果実績	団体数	-	188	381	-	
			目標値	団体数	-	-	-	550	
達成度			%	-	-	-	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	総務省の自治体DX・情報化推進概要において把握する。 成果実績(令和3年度):自治体DX・情報化推進概要(令和3年度) 成果実績(令和4年度):自治体DX・情報化推進概要(令和4年度) 目標値(最終):デジタル田園都市国家構想総合戦略(令和4年12月23日閣議決定)								
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	地方からデジタルの実装を進めるとともに、地方創生の推進に寄与する取組を進め「デジタル田園都市国家構想」を推進することを目的としていることから、デジタル田園都市国家構想総合戦略において主要なKPIとして設定された、デジタル実装に取り組む地方公共団体数を長期アウトカムとして設定。							
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 9年度	
	デジタル実装に取り組む地方公共団体数の増加	デジタル実装に取り組む地方公共団体数	成果実績	団体数	-	387	702	-	
			目標値	団体数	-	-	-	1,500	
達成度			%	-	-	-	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局にて実施する自治体アンケート調査において把握する。 成果実績(令和3年度):未来技術を活用した地域課題の解決・改善の取組等に関する調査(令和3年度) 成果実績(令和4年度):デジタル田園都市国家構想実現に向けた地域課題の解決・改善の取組等に関する調査(令和4年度) 目標値(最終):デジタル田園都市国家構想総合戦略(令和4年12月23日閣議決定)								
アウトカム設定について の説明	アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
	-								
事業に関連する KPIが定められて いる閣議決定等 該当箇所	名称	デジタル田園都市国家構想総合戦略(令和4年12月23日閣議決定)							
	URL	https://www.cas.go.jp/seisaku/digital_denen/pdf/20221223_honbun.pdf							
	該当箇所	P5							

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位: 百万円)

内閣府
82百万円

委託【一般競争(総合評価)】

日本総合研究所・コード・フォー・ジャパン・サーキュレーション・BSNアイネット
共同企業体

・DXによる課題解決のチーム派遣モデル確立に向けた実証事業

費目・用途 <small>(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)</small>	A.			B.			
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)	
	事業費	DXによる課題解決のチーム派遣モデル確立に向けた実証事業	82				
	計		82	計			
費目・用途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載						チェック	

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	日本総合研究所・コード・フォー・ジャパン・サーキュレーション・BSNアイネット共同企業体		DXによる課題解決のチーム派遣モデル確立に向けた実証事業	82	一般競争契約 (総合評価)	2	86%	-